

## 営業所からのお便り (6)

# 豊富営業所からの紹介： 簡易更新機を利用した 自給飼料良質化への取り組み事例のご紹介

今回は、豊富営業所より、専用播種機による追播事例をご紹介します。近年飼料穀物の高騰により、配合飼料の価格が高止まりしてしまい、良質な粗飼料確保が必須になってきております。その中で、豊富営業所では放牧草地と採草地での追播を勧め粗飼料の栄養価を高めていくことを酪農家さんに勧めています。



シードマチック



後部の播種箇所

### 写真

これが、専用播種機（シードマチック）です。前輪のディスクによって土を切り、後部の逆T字型オープナーで土壤に溝を付け種子を落としていくという仕組みです。追播時の注意点は、まず、播種時期です。春は、スプリングフラッシュにより既存草の生育が早いいため、播種した牧草は既存草との競合に負けてしまいます。特にチモシーは発芽、初期生育が遅いため、春の追播は難しいです。一方、発芽、初期生育の早いペレニアルライグラスやフェストロリウムなどの放牧草への追播は早春、土壤が乾いて機械が畑に入れるようであればお勧めします。また、夏場は干ばつの影響を受けやすいため、8月中旬前の播種は避けるようにしましょう。以上のことから追播の適期としては、2番草の刈り取り後の8月中旬から9月上旬に掛けてが、既存草の競合も少なく、土壤水分も安定しているため最適と思われます。

### シードマチックでの追播事例

豊富町のK牧場で、平成21年の4月下旬放牧地の追播を実施いたしました。

放牧地の追播は、ペレニアルライグラス(フレンド) 12kg/haと、フェストロリウム(バーフェスト) 13kg/haで、合計25kg/ha播種しました。また、追播の効果を見るため放牧地の牧区内に、追播を実施する区と無処理の区を作ってもらいました。そして、同年の7月に生草の分析、さらに翌年の6月にも生草の分析を実施しました。下記に分析結果を示します。(無処理区、追播区)

分析値はDM(%)	無処理区	2009/7/24	追播区	2009/7/24
粗蛋白(%)		10.52		14.04
T D N (%)		60.58		66.63
A D F (%)		34.85		29.08
N D F (%)		63.83		54.27
O C W : 総繊維(%)		64.84		54.58
O C C : 細胞内容物(%)		26.17		36.82
O a : 高消化性繊維(%)		8.3		10.83
O b : 低消化性繊維(%)		56.54		43.75
N F C (%)		18.09		24.66

分析値はDM(%)	無処理区	2010/6/7	追播区	2010/6/7
粗蛋白(%)		13.51		17.01
T D N (%)		71.29		74.14
A D F (%)		23.03		21.34
N D F (%)		50.06		43.53
O C W : 総繊維(%)		50.06		43.06
O C C : 細胞内容物(%)		41.92		50.10
O a : 高消化性繊維(%)		13.26		8.96
O b : 低消化性繊維(%)		36.80		34.10
N F C (%)		29.24		33.90

分析結果を比較すると明らかに追播の効果が確認できます。粗蛋白質は、3～4%高く、T D Nは3～6%高くなっています。また、ペレニアルライグラスの特徴でもあるN F C含量も(糖・でんぷん)も高くなっています。全体の繊維組成も高消化の繊維が増え、低消化の繊維が減っているため消化率の高い粗飼料に改善することができました。

この結果を踏まえ、追播後の牛の状態を、畜主の方にお伺いしたところ、放牧地の追播をやったことによって、牛が放牧期間通じて採食量が安定したとの感想をいただきました。これは、放牧草の摂取量を高く維持できた結果と思われる。今後も他の放牧地への追播を行いたいと話されていました。



簡易更新の畑へシードマチック使用

#### おわりに

今回は、放牧地のペレニアルライグラスとフェストロリウムの追播を紹介させて頂きました。追播する草種は、1種類に限定せず混播で設計することをお勧めします。追播を成功させる上では、天候、気温、土壌等様々な条件がありますが、草種(マメ科・イネ科)を増やすことで、条件にあった草種の定着が望めます。

また、他の酪農家さんでも、採草地の追播、採草地の除草剤を利用した簡易更新も実施しており良い結果が得られています。今回は1つの事例を紹介させて頂きましたが、今年も多くの追播を行いたいとの要望が来ております。牛は、草食動物です。粗飼料が変われば牛も大きく変わってきます。今一度草地に目を向けていただき、酪農家さんに良質な粗飼料を確保して頂くためにも、雪印種苗はサポートして行きたいと思っております。

最後になりましたが、貴重な情報を得るために草地追播の情報を頂きました豊富な酪農家さんに、厚くお礼申し上げます。

草地更新および追播をご希望のお客様は、最寄りの営業所へご連絡下さい。専用播種機のご相談も承っておりますので、お気軽にご相談下さい。

(豊富営業所 小柴 博昭)